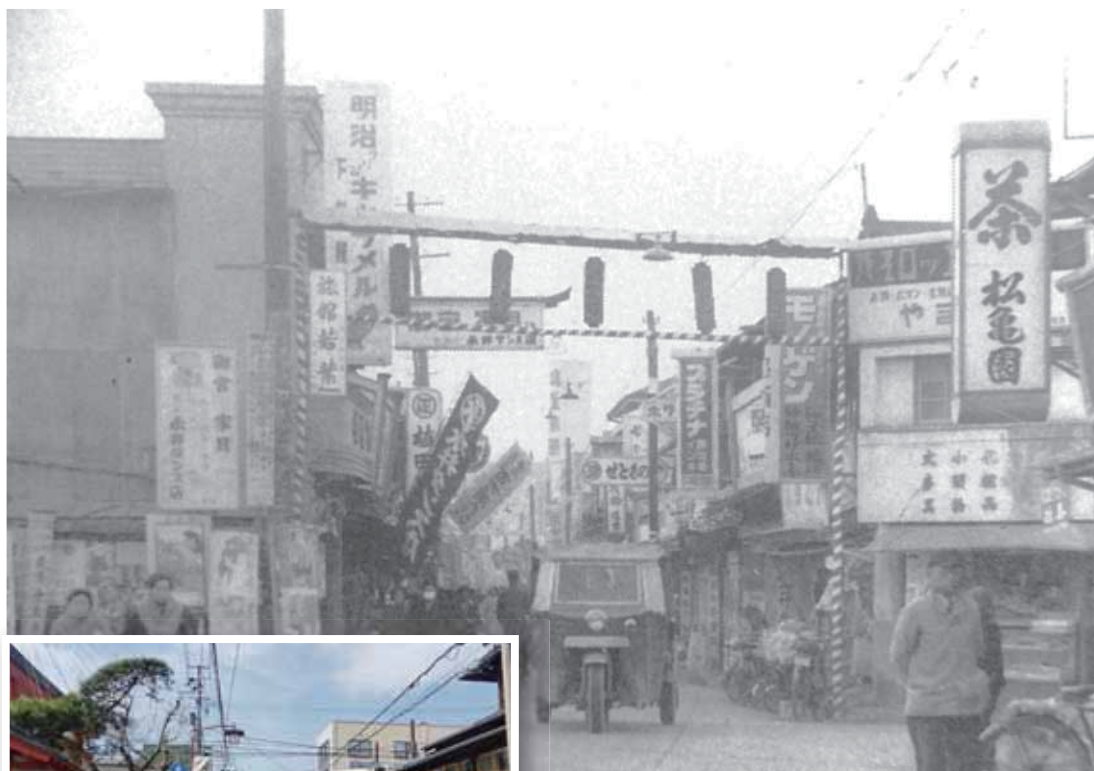


塩竈の歩み



▲昭和25年頃 本町の街並み

◀現在

塩竈市公民館設置 市民主体の活動が活発に

塩竈市に公民館が建てられたのは、昭和25年のことです。それまで公民館は、本町の教会を借り、昭和21年に設置され、活動していました。県内では、当時、塩竈市のほか、仙台市と石巻市にしか設置されておらず、本市は、戦後いち早く、公民館活動を展開していたことが分かります。

その後、活動がより活発化してきたことから、昭和26年1月、塩竈市公民館が新築されました。これが、現在の塩竈市杉村惇美術館・公民館本町分室です。当時、新築を記念する行事が一週間も行われ、商店街でも開館を祝い、大売り出しが行われました。

公民館活動として現在まで続いているのが「塩竈市美術展」です。第一回目は、塩釜市民協会の主催でした。当時の塩釜商工会議所を会場に昭和22年11月に開催され、洋画、日本画、工芸が展示されました。

昭和53年塩竈市公民館発行の「30年の歩み」によると、「公民館の月別行事予定表をみると、何もない日はほとんどないほどである」と記載されており、公民館ができたことで、市民の自主的な活動が盛んになり、活気があふれていたことが分かります。

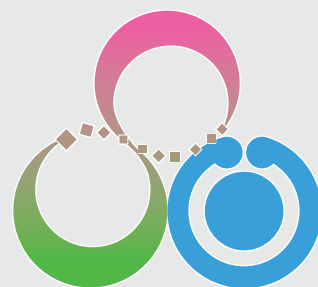
市制施行80周年記念ロゴマークが完成！

ロゴマークのコンセプト

塩竈の「S」と、塩竈の由来である藻塩、市章を組み合わせ「80」をデザインしました。藻塩には、これまでの歴史や伝統を未来へ繋げていく願いを込めています。カラータイプ（1ページに掲載）は、鹽竈桜の葉と花びら、海をイメージした色になっています。今後、ポスターやチラシ、職員の名刺などに使用し、市制施行80周年をPRしていきます。

ロゴマークの使用について

ロゴマークを使用するには、事前に市の承認が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。



塩竈市市制施行80周年

問 総務課総務係 ☎355-5007